

# 広報たかなべ

2012. 1. 20 NO. 374



- ・平成24年 高鍋町成人式
- ・新年のごあいさつ
- ・高鍋町男女共同参画プラン【改訂版】策定
- ・高鍋町名誉町民 上條勝久氏 ご逝去
- ・事務事業評価・外部評価を行いました
- ・参加費500円で商店街めぐりはいかがですか♪
- ・平成22年国勢調査 人口等基本集計確報！
- ・高鍋町消防団の皆さん、いつもありがとう
- ・まちの話題
- ・わが町の宝物
- ・「高鍋町消防組」旗 展示中！
- ・宝くじの助成金で整備されました

写真：熊本西高校との練習試合  
(12月12日 小丸河畔運動公園)

第91回全国高等学校ラグビーフットボール大会に、宮崎県代表として2年ぶり19回目の出場を果たした高鍋高校ラグビー部。1回戦で長野県代表の飯田高校と対戦し、最後まで執念の戦いを見せてくれましたが、18対20で惜敗しました。しかし、高鍋高校は、開会式での入場行進が最も素晴らしかったチームにおくられる「ベストマーチング賞」を見事受賞し、私たち町民に希望と喜びをもたらしてくれました。

# 平成二十四年 高鍋町成人式

成人おめでどう

一月五日、高鍋町中央公民館ホールで平成二十四年高鍋町成人式が行われました。今年、百七十人（男性七十八人、女性九十二人）の出席者が晴れ着に身を包み、大人への第一歩を踏み出しました。

今年も新成人十一人からなる成人式実行委員会が結成され、パンフレット作成などの準備から当日の進行までを担当し、素晴らしい成人式を作り上げてくれました。

新成人を代表して、木本早紀さんが「成人としての自覚や責任を持ち、社会に貢献できるように常に向上していきたい」と感謝の言葉と共に抱負を述べました。

また、大人への仲間入りを祝う恩師からのビデオレターが流れると、出席者から歓声が上がり、会場は当時を懐かしむ和やかな雰囲気となりました。

高鍋町手話サークルによる手話通訳



### 成人式実行委員会メンバー紹介

写真左から  
十津愛鳥さん(実行委員長)・井上瞳さん・木本早紀さん・松田陽輔さん・宇治橋真悟さん・多武賢さん・杉田航平さん・谷山正行さん・茂沙織さん・鈴木由衣さん・平塚沙由美さん

準備段階での取材では「楽しく思い出に残る成人式にしたいが先が見えず不安」「実行委員会は誰かがやるだろうと思っていたが、やるからには式をみんなに楽しんでもらいたい」と委員会メンバーの中にも不安と期待があるようでした。

しかし、式後に実行委員長の十津さんは「委員会が発足してすぐは、出身の違う人とはうまく話が進まなかったけど、今は友達となって今日を迎えました。やりきった感でいっぱい、本当にホッとしました」とメンバーみんなの気持ちを充実感いっぱい話してくれました。

メンバーの皆さん、本当にお疲れさまでした!

ビデオレターによるメッセージ

### ☆小中学校の恩師からのお祝いメッセージ☆

「夢と志を！夢はあらゆる原動力！」  
「大人の自覚を！」  
「何より元気であること！」  
「責任と努力！」  
「自分の役割を考えガンバシ！」  
「困った時はいつでもおいで！」



## 新年のごあいさつ

高鍋町長 小澤 浩一



町民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、町政の推進に当たりましては、日ごろから、温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震は、日本中を震撼させ、東北から関東にかけての東日本一帯に甚大な被害をもたらしました。改めて日ごろからの防災に対する意識づけが重要であると痛感したところでございます。本町におきましても、五月の宮崎県総合防災訓練、九月の高鍋町防災訓練に併せて、多数の町民出席の下、津波避難訓練を実施し、また、現在「高鍋町地域防災計画」の見直しを進めているところでございます。

二〇一一年を表す漢字が「絆」と発表されましたが、まさに「絆」の大切さが求められ

な被害をもたらしました。改めて日ごろからの防災に対する意識づけが重要であると痛感したところでございます。本町におきましても、五月の宮崎県総合防災訓練、九月の高鍋町防災訓練に併せて、多数の町民出席の下、津波避難訓練を実施し、また、現在「高鍋町地域防災計画」の見直しを進めているところでございます。

二〇一一年を表す漢字が「絆」と発表されましたが、まさに「絆」の大切さが求められ

たところでございます。今回の大震災の避難や救助において自治会の果たされた役割は非常に大きいものでございました。町内の自治公民館におかれましても、防災会を組織され日ごろから訓練されるなど大変心強く感じているところでございます。

また、本年は、高鍋町初の町人会「近畿高鍋会」が関西地区において設立される予定でございます。

一昨年の口蹄疫発生にあり、県内外から多数のご支援を

賜り誠にありがとうございました。心強く感じました。故郷を同じくする方々および故郷「高鍋町」との「絆」も深めていただきたいと思いますので、皆様方の積極的なご参加をお願い申し上げます。

本町の地域経済は、口蹄疫や鳥インフルエンザ、さらには東日本大震災、欧州財政危機と、長引く景気低迷により、非常に厳しい状況となっているところでございます。

そのような中、復興対策を実施するなど、高鍋町の町政運営の基本とした「高鍋町総合計画第五次基本構想」に基づき、住民参画による快適で美しいまち

「たかなべ」の実現を目指し、さまざまな政策課題に全力で取り組んでいるところでございます。

しかしながら、口蹄疫等からの経済復興および畜産業の再生に取り組むためには、町民の皆様と行政とが一体となり、創意工夫をしながら取り組まなければなりません。どうか皆様方におかれましては、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭に当たり、本年が皆様にとりまして、実り多き良い年となりますことを衷心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。



## 新年のごあいさつ

高鍋町議会議長 山本 隆俊

平成二十四年の年頭にあたり、議会を代表して謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素から町議会に対し、格別のご支援ご協力を賜り、議員一同心よりお礼申し上げます。

昨年は何と言っても三月に発生しました三陸沖を震源と

する大地震と大津波。想像を絶する壊滅的な被害をもたらした二万余人の尊い命が犠牲となり、歴史的な大災害となりました。さらに同時に起きた原発事故。一日も早い終息を願いつつも、一方では放射線物質の拡散による健康不安や農畜産物への影響、除染の問題など、時間を要する課題も出ています。そのような中、私たちはその不安が早々に解消されるようスピード感を持った対策を願う次第であります。

高鍋町でも日向灘を震源とする地震の発生が高い確率で予測されており、その対策が大変心配されているところであります。震災を機に、一人ひとりが「どう行動し、どう守るか」、その心構えを強く意識づけられたのも事実であり、正確な情報の伝達手段の確立が急務であるとも考えております。

また、国のあり方が一変するだろうと言われているTPP

（環太平洋戦略的経済連携協定）への参加は、雇用を奪い、食の安全・安心を脅かし、さらには保険や医療など多岐に影響するものです。十分な情報提供や議論も無い中でTPP交渉への参加表明は、地域経済や社会、地域コミュニティにも影響するものであり、第一次産業や関連産業が基幹産業である本町を含め、再生の為の安心できる材料提供を早急に示してほしいと強く願うものであります。

さて、私達議員は一昨年の選挙で選ばれ、「何らかの形で町民の皆様が目に見えるように」との思いで各種の催しに参加し

表としての責務を自覚し、切磋琢磨し、町民と共に時代に相応（ふさわ）しい「町づくりに」、今できる一歩から取り組んで参りたいと考えている次第です。

今後とも町民の皆様のご支援とご指導をお願い申し上げますと共に、本年が穏やかな良い年になりますよう、皆様方のご健勝とご繁栄を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

# 高鍋町男女共同参画プラン【改訂版】策定

「男女一人ひとりが個性や能力を活かし、住民参画による快適で美しいまち「たかなべ」を目指して」

## 男女共同参画社会に向けて

町では、皆が性別にとらわれないこと、自由に人生を選択し、チャレンジでき、誰もがいきいきと暮らすことができる町づくりをめざして、平成十八年三月に「高鍋町男女共同参画プラン」を策定しました。

町は、このプランに基づき、高鍋城灯籠まつりなどのイベントにおける啓発活動や、家庭教育学級でのワークショップ開催など、男女共同参画について考えていただく機会をつくる取り組みを重ねてきました。

## 高鍋町の現状

このような中、町は平成十二年八月に男女共同参画プラン策定のための町民意識調査を行いました。その結果の一部（調査の詳細は、高鍋町ホームページに掲載中）は下欄のとおりで、家庭や職場、地域などさまざまな分野で男性が優遇されていると感じている人の割合が高く、男女共同参画社会の実現に至っていない現状です。

ない現状が見てとれます。

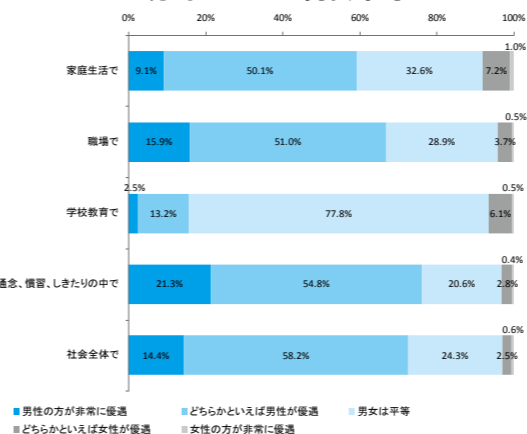
## 個性や能力を活かせる社会へ

この結果を受け、町は第五次高鍋町総合計画と国や県の法制・計画との整合性を図りながら、『住民参画による快適で美しいまち「たかなべ」子どもがにぎわうまちづくり』を目指し、町民と行政が協働して積極的に男女共同参画を推進していくために、高鍋町男女共同参画プランの改訂を行いました。

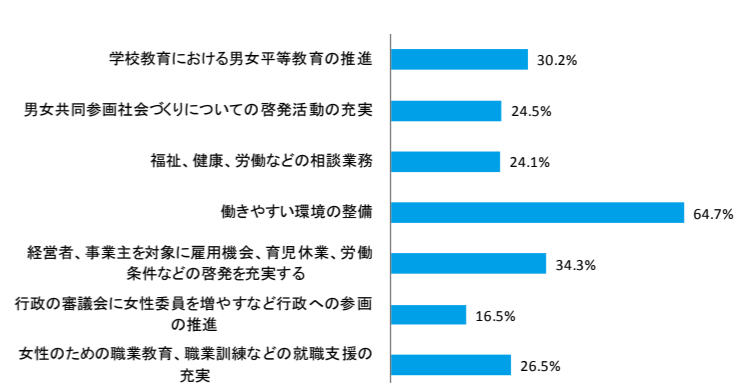
改訂概要として、従前の計画を基本的に継承するなかで、家庭や地域、職場等における男女共同参画に関する町民意識の現状を把握するとともに、防災・災害対策の分野における男女共同参画の推進や、地域における男女共同参画の推進など、新たな課題に対応した取り組みを盛り込みました。さらに、計画の実効性を高めるため、数値目標を設定しました。

## 町民意識調査からみる男女共同参画社会への現状と課題

### ◎さまざまな分野における男女平等



### ◎男女共同参画社会を形成していくために必要なこと



# プラン【改訂版】6つの重点目標とその実現に向けた方針と取り組み



## ①男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し



高鍋町政策推進課 大森 聡 主任主事 (男女共同参画担当)

「町民意識調査結果によると、『社会通念、慣習、しきたり』について男性が優遇されていると感じている割合が高く、男女共同参画社会の実現に至っていないのが現状です。町では、分かりやすい広報・啓発活動や出前講座を通して男女共同参画の意識づくりに取り組んでいきます」

町広報紙等による広報・啓発の推進、女性団体への支援育成、男女共同参画の視点に立った行政施策の立案・見直し

## ④政策・方針決定過程への女性の参画の拡大



高鍋町商店街連合会 兼山 和枝 会長

「以前に、高鍋商工会議所青年部会長、まいづるカード会会長をさせていただきました。これらの役職に就くのは女性として初めてだったからか、会長と思われずに名刺交換をさせてもらえなかったりするなど、まだまだ男性社会であることを痛感しました。今後は町女性職員の管理職登用や、やる気のある女性を各種委員に任命するなど、女性の目線が反映されたまちづくりが必要ですね」

各種審議会等への女性の参画、町女性職員の管理職登用の促進、団体等への女性登用の啓発など

## ②男女共同参画教育・学習の推進



和やかな雰囲気の中、クラス全員で「飯とみそ汁の調理実習を行った西小学校5年生」

社会全体への男女共同参画教育の推進、学校教育での男女共同参画の推進、人権教育の推進、男女共同参画に関する出前講座の推進など

小学校5・6年生は、家庭科の授業で家庭生活について学びます。高鍋西小の押川恵子教諭は「小学校では、男女区別なく指導を行っています。実習後に各家庭で実践することは、自分や家族の役割について考える良い機会となっています」と話しました。

## ③女性の性と人権の尊重



高鍋町健康づくりセンター 立山 由紀 保健師

「女性は、妊娠や出産の仕組みが備わった体を持っているので、男性とは異なる健康上の問題に直面しがちです。ですから、家庭や職場において女性の健康管理についての認識をさらに深めてほしいですね。子宮頸がんや乳がん検診については、特定の年齢（5歳刻み）の方を対象に無料検診クーポン券を配布していますので、ご利用ください。女性の皆さん、検診は定期的に行きましょう」

リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）の啓発、健康づくりの支援、あらゆる暴力を許さない社会意識の啓発など

## ⑥家庭生活・地域社会での男女共同参画の推進



町内在住の日比順さん（写真右）は、長女のかのちゃん（4歳）と大の仲よし。順さんは「家庭で血洗いや子どものお風呂入れなどをすることは、共働きの妻のことを考えると当たり前です。パートナーへの思いやりはとても大事ですね」と話しました。

家庭生活への男女共同参画の促進、男性の家庭・地域への参加促進、防災・災害対策の分野における男女共同参画の推進

## 自分らしく生きよう

「家庭で、地域で、職場で、学校で」

日本国憲法には、個人の尊重・法の下の平等がうたわれています。しかし、町民意識調査の結果によると男女平等の実現には至っていないのが現状です。

今回改訂された「高鍋町男女共同参画プラン」の上記6つの目標の実現により、町民一人ひとりが性別にとらわれず、個性や能力を存分に発揮できる社会となるよう、町は、取り組みを推進していきます。

（プランの詳細につきましては、全戸配布のダイジェスト版または高鍋町ホームページをご覧ください）



## The Interview



郵便局渉外社員 中武 彩さん (高鍋郵便局勤務)

※現在、宮崎県内の女性渉外社員は2人だけだそうです。

私は、中学時代に新聞配達をしたことや、仕事で外回りをする母を見てきたからか、郵便局の採用試験では迷わず渉外社員を選びました。雨の日など天候が厳しい日の仕事は正直きついです。私にはこの仕事が大変やりに感じています。また、私の仕事に対して夫など周囲が協力してくれることに感謝しています。



看護師 後藤 祥一郎さん (海老原総合病院勤務)

私は、身近にいた姉とおばが看護師として働いていたこともあり、何の抵抗もなく看護師の道に進みました。今の職場は、全看護師のうち男性は1割程度ですが、医師や理学療法士に男性がいることもあり、男女の人数の差など働く環境には全く問題ありません。今後は、患者さんの立場に立った看護を心がけていきたいと思っています。

自分らしく生きるって人生は楽しいよ  
性別に関わりなく、自由に自分の夢や希望にチャレンジしてみませんか？

## 高鍋町消防団の皆さん、いつもありがとう

1月7日、小丸河畔河川敷運動広場で平成24年消防始式が行われ、高鍋町消防団の皆さんが日ごろの訓練の成果を披露しました。  
成績は次のとおりです。

### ◎消防始式の部

- 第1位 直轄部
- 第2位 第10部
- 第3位 第3部

### ◎年間機庫点検の部

- 第1位 第4部
- 第2位 第5部
- 第3位 第10部

### ◎優秀指揮者の部

- 第3部部長 松井 信寿
- 第5部部長 熊本 宗弘
- 第11部部長 永友 康一



消防始式の部 第1位の直轄部



発水試験

各自の仕事を持ちながら、火事や、災害時の救助・救出活動などに昼夜を問わず活動をする消防団の皆さん。  
いざという時のための訓練や、地域の安心・安全の確保のための活動も行っています。

### 水利点検活動



いつ起こるか分からない火事。そんなとき、すぐに消火活動ができるように、各地域の消防団は、年に数回、水利点検を行っています。

本部部長の鈴木誠二さんは「各部とも管轄内のすべての水利を定期的に厳しくチェックします。特に消火栓の取っ手が外れていないか、水は出るのかなどの項目は大変重要です」と、この活動が消防団の重要な活動であることを真剣な表情で話しました。

※水利とは…防火水槽・井戸・消火栓など  
消防団の皆さんのおかげで、町民は安心して生活ができていますのですね。本当にありがとうございます。

### ◎消防団員を募集しています

◆お問い合わせ：総務課 生活安全係 TEL：26-2001



大かるたとり

十一月二十三日、めいりん公園で収穫祭が行われ、参加者は開始時の激しい雨にも負けず、元気に里芋や大根などを掘り出していました。また、米粉ケーキや高鍋町茶業振興会青年部による茶団子汁のふるまひがあり、会場は和やかな笑顔であふれていました。

### ◎「食」の楽しいふれあい

十一月二十日、ルピナスパークで総勢十人、一軍が参加しての東児湯鍋合戦が行われました。高鍋軍は、山芋や牡蠣、ロールケーキやベーゼの「山海」を参戦しました。二位でした。



### ◎心も体もほっかぼか

十二月一日、国際ソロプチミスト高鍋支部は、今年で八回目となる、高鍋町健康づくりセンターへの絵本寄贈を行いました。津曲牧子会長は「子どもや保護者に役立ててほしい」と子どもたちの健全な成長を願いながら、優しく話しました。



希望者には2週間(1人2冊まで)の貸し出しができます  
※合計248冊があります。

### ◎絵本はこころの成長の糧に



まちなか協議会の小澤正隆会長は「近々、商店街に、高鍋など児湯の特産品が買える物産館ができます。ご期待ください」と力強く話しました。

十二月十二日、高鍋町まちなか商業活性化協議会と「がんばろう宮崎！ 駅サ イティング市」の合同企画「まちなか駅サイティング市」が商店街空地で行われ、買い物客でにぎわいました。

### ◎商店街に各地の特産品



高鍋町の代表として堂々とした走りを見せてくれた、小学生から一般の選手の皆さん  
※1区を走った隈元紘輝くん(前列最左)は見事区間賞を獲得しました！

一月九日、第二回宮崎県市町村対抗駅伝が宮崎市で行われました。わが高鍋チームは町村の部で、昨年の十三位から一気に躍進し、五位でゴールしました。



参加した蚊口地区子ども会の皆さんは、寒い中でも元気に「火の用心！」と声かけをしながら拍子木を鳴らしていました。

十二月にNPO法人「児湯・高鍋ライフセイビングス ボーツクラブ」設立が認証されました。代表の東川泰明さんは「自然体験ができる環境づくり等に取り組みたい」と抱負を話しました。  
十二月二十三日、第一地区連協と高鍋町消防団第一部は、毎年恒例の防火・防犯年末特別警戒を行いました。

### ◎子どもが安全に遊べる町へ

## 【お知らせ】



上條勝久氏(かみじょう・かつひさ=高鍋町名誉町民)が、平成23年12月27日にお亡くなりになりました。101歳でした。町葬の実施についてなど未定ですが、決まり次第お知らせいたします。  
※上條勝久氏は、明治43年に高鍋町中鶴に生まれ、建設省などの勤務後は参議院議員を2期務められました。高鍋町においては、小丸川の一級河川への昇格や国道10号バイパス事業など、現在の高鍋町の都市基盤の基礎をつくれ、その功績は多大であります。

## 事務事業評価・外部評価を行いました

### ◆ 事務事業評価 ◆

平成22年度に実施した77の事業についてヒアリングを行いました。

委員会における2次評価の結果、事業面・コスト面ともに方向性を「縮小」と判断した事業が1事業、「廃止」と判断した事業が1事業ありました。

一方で、事業面・コスト面ともに方向性を「拡充」としたのは3事業でした。

事業名	評価判定
敬老祝金支給事業	縮小
人工血液透析患者通院交通費助成	廃止
スポーツキャンプ・各種大会の誘致	拡充
企業誘致	
保育園地域活動事業	

### ◆ 外部評価 ◆

平成22年度に実施した事務事業のうち、8事業について外部評価を行いました。

事業名	評価判定
まちなかチャレンジショップ事業	現状維持
地場産業振興対策事業(新商品開発等)	拡充
高鍋湿原	拡充
食育推進事業	拡充・現状維持
米沢市・高鍋町青少年少女交流会	拡充
企業誘致	現状維持
地方バス路線維持事業	現状維持
防災事業	拡充

### 【お知らせ】

- ①上記の評価判定の結果をもとに、平成24年度予算を編成します。
- ②今年度は、2人の有識者と3人の公募委員(町民の方)により外部評価を実施しました。また、来年度実施の評価に向けて、より活発で有意義な会議になるよう、さらに委員の募集を行う予定です。詳細は、4月以降にお知らせします。

### 【お問い合わせ】

政策推進課 財政経営係 TEL：26-2018



外部評価委員長の入谷貴夫  
宮崎大学教授から答申を受け取る小澤町長

## 平成22年国勢調査 人口等基本集計確報!

### 【高鍋町】

- ・人口総数：21,733人
- 男：10,324人
- 女：11,409人
- ・世帯数：8,668 世帯

### 【宮崎県】

- ・人口総数：1,135,233人

### 【全国】

- ・人口総数：128,057,352人

※詳しい調査結果は、総務省統計局のホームページで公表されています。



### 企画展「なつかしのトウル展」開催中!

昔の貴重な道具類を展示しています。当時を懐かしみ、その移り変わりを感じてみませんか。

▲とき 3月25日(日)まで

▲ところ 高鍋町歴史総合資料館

※詳しくは、同資料館(23-1322)へ。



## 参加費500円で商店街めぐりはいかがですか?



東児湯の魅力発見メニューがたっぷり掲載されている、ひがしこゆ観光ネットワーク作成「こゆめぐり」。

その中の一つ「マップ片手にどこ行こう?」の実施日(1月27・28日と3月23・24日)には、高鍋町美術館、歴史総合資料館、家老屋敷黒水邸でもそのクーポンを使うことができ、大変お得です。

申し込みなど詳しくは、ひがしこゆ観光ネットワーク事務局(☎22-1333)へお気軽にどうぞ。



# わが町の宝物

このコーナーは、9・10カ月児健診に来たお子さんを紹介しています。

今回は、11月・12月の健診に来た元気なちびっこたちです！

みんな元気に育ってね。



かつだ 勝田 みつきちちゃん



にしはら ゆうこ 西原 裕子 ちゃん



はまもと のぞみ 濱本 希 ちゃん



よしや こう 吉屋 煌 ちゃん



むらき ゆうた 村木 勇太 ちゃん



くろき もあ 黒木 萌空 ちゃん



やまうち せいら 山内 星愛 ちゃん



きよはら はな 清原 花 ちゃん



ほんだ くるみちゃん 本田 くるみちゃん



くろき みの 黒木 美乃ちゃん



たけした けんこ 竹下 健人 ちゃん



しみず ゆうあ 清水 雪羽亜ちゃん



やまもと ちはる 山本 智晴 ちゃん



いとう らいお 伊藤 来桜 ちゃん



なかたけ あいみちゃん 中武 あいみちゃん



さだち しあん 左達 志庵 ちゃん



かりや あかり 刈谷 緋莉 ちゃん



ほらだ きょうこ 原田 恭吾 ちゃん



たけした たいよう 竹下 太陽 ちゃん



くろき こうが 黒木 皇雅 ちゃん



おおにし そうま 大西 蒼真 ちゃん



さの こはる 佐野 心春 ちゃん



たかはし ひなと 高橋 隼人 ちゃん



きたがわ なな 北川 奈々ちゃん



くろき ひいろ 黒木 陽彩 ちゃん

## 「高鍋町消防組」旗 展示中！

平成23年11月に高鍋町消防団第4部の関康仁さんから寄贈された、高鍋町消防団の前身である同町消防組の旗が、高鍋町歴史総合資料館の企画展「なつかしのツール展」で特別展示中です。

明治27年に発足し、太平洋戦争前まで組織されていた消防組。その旗は保存状態が良かったようで、特に破れもなく色は鮮やかに残っています。

明治から昭和の消防用具と共に展示された消防組旗。この旗を見て、当時の若者の地域に懸けた熱い想いを感じてみませんか。



## 広報たかなべ 2012. 1. 20 NO. 374

編集・発行／宮崎県高鍋町  
〒884-8655 宮崎県児湯郡高鍋町大字上江8437  
政策推進課／☎0983-26-2003  
<http://www.town.takanabe.miyazaki.jp>  
※「広報たかなべ」は町ホームページでもご覧になれます。



### 人口と世帯数(1月1日現在・前月比)

人口	21,622人	(-1)
男性	10,253人	(-4)
女性	11,369人	(+3)
世帯数	8,705世帯	(+4)

### 宝くじの助成金で整備されました

高鍋町に次の備品等が整備され、地域コミュニティ活動に活用されています



#### ■牛牧自治公民館



整備された備品の一部

- ・移動用PAアンプ
- ・液晶テレビ
- ・発電機
- ・会議用テーブル ほか

#### ■大工小路自治公民館



整備された備品の一部

- ・エアコン
- ・プロジェクター
- ・発電機
- ・壁掛スクリーン
- ・グラウンドゴルフ用品 ほか